

母の日の図画・作文コンクール
ご担当者さま



琉球新報社

代表取締役社長 玻名城 泰山

省公
略印

コロナウイルスに伴う母の日の図画・作文コンクール 日程変更のお知らせ

日頃より、琉球新報社の教育事業に格別のご高配いただき誠にありがとうございます。

この度、現在発生している新型コロナウイルス感染拡大を受け、

母の日の図画・作文コンクールの日程を下記の通り変更いたします。

今後、コロナの状況により、再度日程変更も予想されます。予めご了承ください。

変更情報は、琉球新報社ホームページ「琉球新報 イベント情報」で随時更新していきます。

大変恐縮ではございますが、定期的にご確認の程、お願いいたします。

【作品受付】5月19日（火）～5月21日（木）

【審査会】5月30日（土）会場：琉球新報開発

【特集紙面】6月28日（日）

【作品展】7月13日（月）～7月18日（土）会場：琉球新報社

【表彰式】7月18日（土）会場：琉球新報社（変更になりました）

※作品展・表彰式開催に関しましては仮の予定です。状況により中止する場合がございます。

作品展・表彰式開催の有無につきましては、日程が近づきましたら、ホームページに掲載予定です。

【事務局】

株式会社琉球新報開発

098-865-5270

担当：稲福

2020（令和2）年度

第30回 児童・生徒の平和メッセージ 〔図画・作文・詩〕作品募集要項

1. 趣 旨

本県は去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦となり、20 万余の尊い生命とかけがえない文化遺産を失った。戦後 75 年を経過した現在、この歴史的事実を風化させることなく次の世代に正しく継承していくために、児童・生徒が平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会をつくる。また、応募作品の中から、優秀な作品を選定し、展示、広報することで、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを届ける機会とする。

2. 作品のテーマ（例）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ○平和、生命の尊さ | ○戦争体験者から聞いた戦争の話 |
| ○平和を築き上げていくことの大切さ | ○世界の人々の平和への理解と協力 |
| ○戦争の悲惨さ・愚かさ | ○平和に関わる人権、飢餓、貧困、環境問題など |

3. 実施機関

主催：沖縄県（主管：沖縄県平和祈念資料館） 共催：沖縄県教育委員会

4. 募集対象：

沖縄県内の小・中学校及び高等学校、高等専門学校、特別支援学校（学級）の児童・生徒

5. 応募方法

- 作品は、すべて所属学校を通して応募する。
- 作品提出票に必要事項を記入し、作品といっしょに提出する。
- 図画・作文・詩ともに未発表作品で、各部門につき一人一点とする。
- 学校名、学年、氏名（フリガナ）、題名を必ず応募ラベルにペンで記入する。
- 応募ラベルについては、図画は作品裏面の左上に貼り付け、作文・詩は原稿用紙の右上にホッチキスで綴じる
- ※作品提出票・応募ラベル・作品応募規定チェック表は各学校に送付しています。沖縄県平和祈念資料館のホームページからもダウンロードできます。

6. 作品応募規定

*以下の規定から外れる作品は、審査対象から除外されるのでご注意ください。

<図画部門>

- 市販の画用紙（四つ切り、38cm×54cm）を使用する。
- 図画には文字のメッセージは入れない。
- 裏面に図画の説明文（制作意図）を記入する。
- 運搬や保管などで取扱いが困難となるもの（スパンコール、砂、微細な切り絵など）及び立体作品は不可。
- 作品は折り曲げずに出品する。

<作文部門>

- 小学校1、2年生は原稿用紙2枚程度、小学校3、4年生は3枚程度、小学校5、6年生は4枚程度、中学生及び高校生は5枚程度とする。作品は清書して提出（代筆不可）する。
- ※特別支援学校及び特別支援学級については、学年を問わず枚数を特に指定しない。

<詩部門>

- 枚数は特に指定しない。作品は清書して提出（代筆不可）する。

<作文・詩部門共通>

- 原稿用紙は400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙とする。市販用紙を複製したコピー用紙は使用しない。（小学校1、2年生は200字詰め原稿用紙も可）
- 原稿用紙の1行目に題名、2行目に学校名と学年、3行目に氏名を書き、4行目から本文とする。
- 特別支援学校及び特別支援学級については、障がいの程度に応じて代筆も可とする。